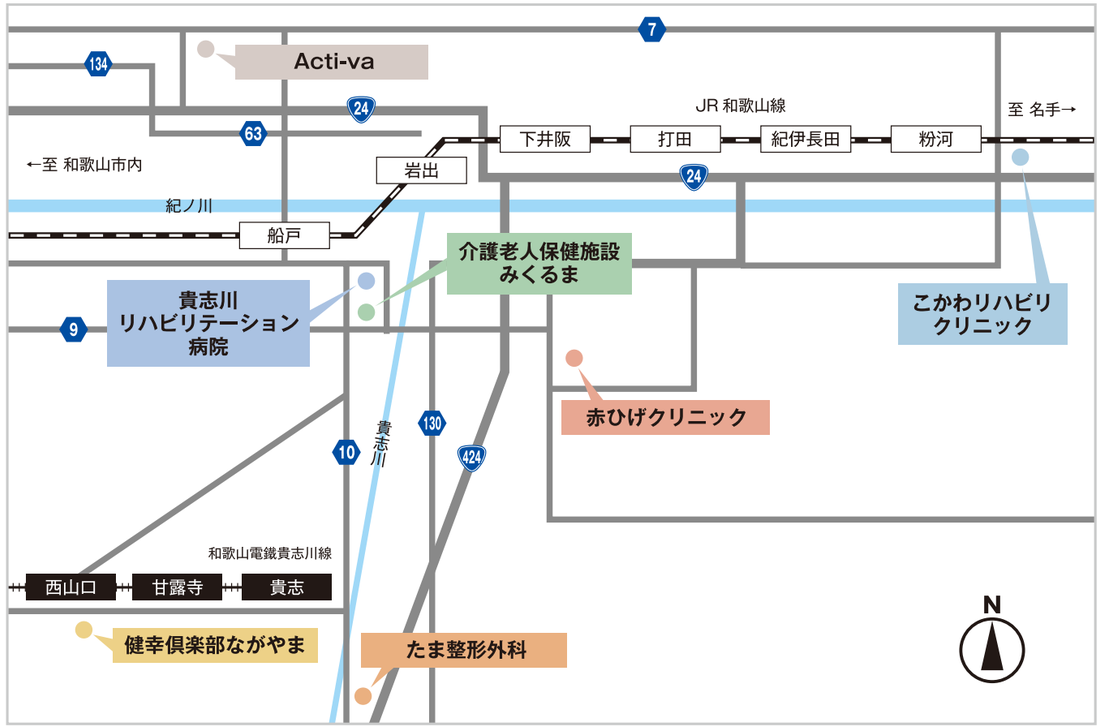


社会医療法人三車会　〒640-0401　和歌山県紀の川市貴志川町丸栖 1423-3
貴志川リハビリテーション病院　TEL:0736-64-0061

関連施設

・在宅総合ケアセンター　赤ひげクリニック
〒649-6123 和歌山県紀の川市桃山町神田 378　TEL：0736-66-9003

・たま整形外科
〒640-0424　和歌山県紀の川市貴志川町井ノ口 974-4　TEL:0736-65-2700

・こかわリハビリクリニック
〒649-6531　和歌山県紀の川市粉河 451-9　TEL：0736-67-7818

・介護老人保健施設みくるま
〒640-0401　和歌山県紀の川市貴志川町丸栖 936-3　TEL：0736-64-2800

・Acti-va
〒649-6202　和歌山県岩出市根来 823-1　TEL:0736-69-0051

・健幸倶楽部ながやま
〒640-0416　和歌山県紀の川市貴志川町長山 583-1　TEL：0736-86-0000

Homepage　Instagram

社会医療法人 三車会 広報誌

みくるま通信

Social medical corporation mikurumakai

2023 spring
35
TAKE FREE

Photographer：岡野（リハビリテーション部）
Shooting location：恋のチューリップ畑（橋本市）
Photo title: チューリップ



CONTENTS

・新院長紹介
院長　西村　和彦

・新任医師紹介
リハビリテーション科　藤本　周作

・ロボット支援手術について聞く
整形外科医師　西山　大介
整形外科医師　福井　大輔

・老健みくるまについて聞く
管理者　医師　森脇　宏
副施設長　看護師　西山　登志子

・新入職員の紹介



三車会公式キャラクター
みくまくん

新院長就任のお知らせ



新院長

西村　和彦

Nishimura Kazuhiko

診療科目

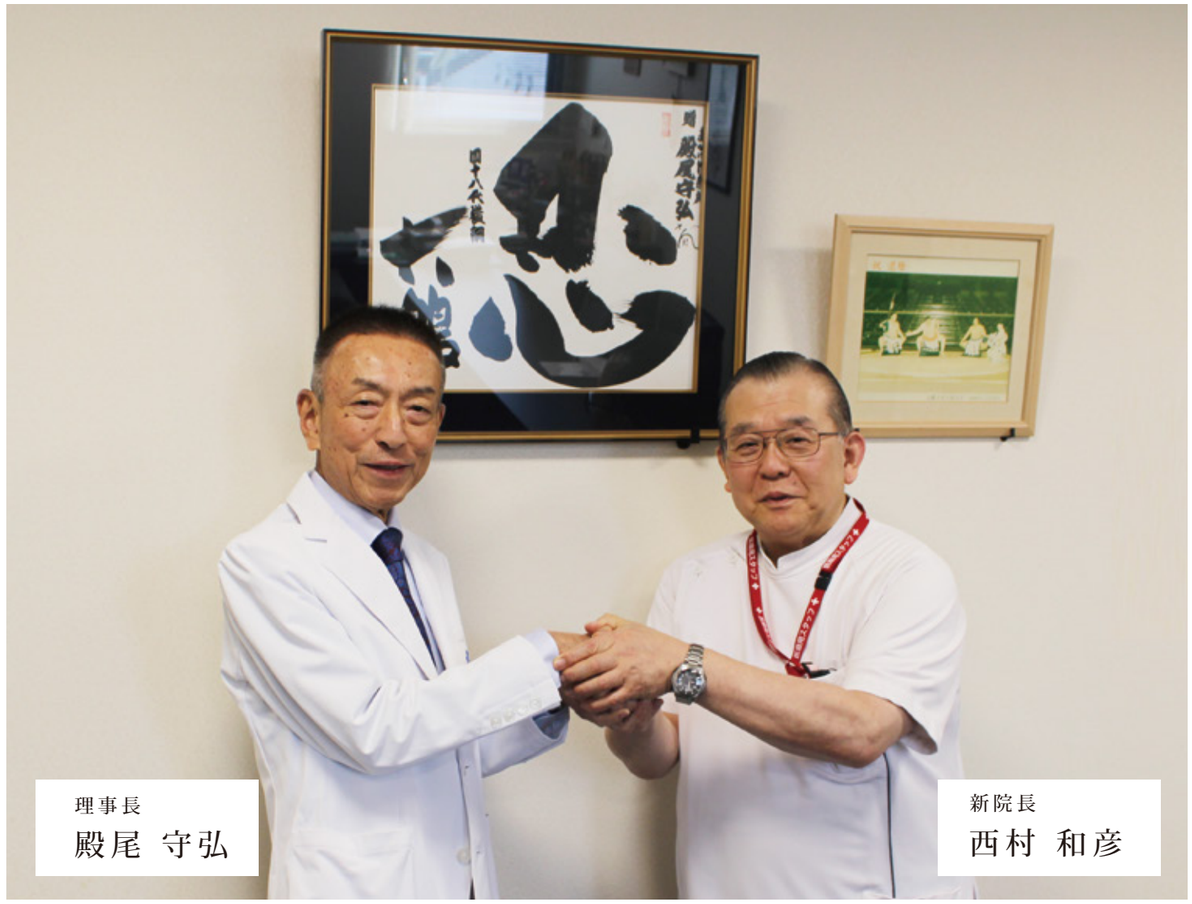
総合診療科・外科

Profile

出身地	紀の川市粉河　1956年10月29日生まれ
1975年	和歌山県立粉河高校卒
1981年	順天堂大学外科
1996年	順天堂大学外科　講師
2005年	東京都立東部地域病院　外科部長
2010年	東京都立東部地域病院　外科系副院長
2018年	貴志川リハビリテーション病院
2019年	貴志川リハビリテーション病院　患者サポートセンター長
2020年	貴志川リハビリテーション病院　副院長
2023年	貴志川リハビリテーション病院　病院長

所属学会

日本外科学会
日本消化管学会
日本消化器がん検診学会
日本消化器内視鏡学会
日本病院総合診療医学会
日本禁煙学会
日本化学療法学会
日本外科感染症学会
日本乳癌学会
日本リハビリテーション学会
認知症予防学会　等多数



2023年4月より新院長として当院副院長の西村和彦医師が就任しました。

このたび貴志川リハビリテーション病院の院長職を拝命し、2023年4月1日より就任いたしました西村和彦と申します。

私はこれまで高校卒業後40年以上、東京の順天堂大学およびその関連施設、ならびに東京都立病院で消化器外科を中心に一般外科、乳腺外科等の診療に携わってまいりました。と同時にがん診療、内視鏡診療、感染症診療や術前術後の管理など幅広い研鑽を積んでまいりました。これらの経験から多岐にわたる学会に所属し、資格も取得して、5年前から地元にもどり、貴志川リハビリテーション病院に入職し、3年前から副院長として勤務させていただいておりました。

近年、脳神経疾患、整形外科疾患のみならず、循環器疾患や呼吸器疾患、癌や摂食嚥下障害などに対しても、原疾患の治療に加えて可及的早期のリハビリテーション介入が重要であると報告され、実践されております。

当院には、殿尾守弘理事長のリーダーシップのもと、種々のハード、ソフト両面が備わっております。これらの環境の中で、私も職員と一丸となって誠心誠意、地域医療に邁進していく所存ですので、当院により一層のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。



新任医師紹介

リハビリテーション科

藤 本 周 作

Fujimoto　Syusaku

結果を出す医療を実践して

2023 年 4 月より入職しました藤本周作です！
広島出身で岡山大学を卒業しました。
リハビリテーションを中心として整形外科領域なども
診察させていただきます。
結果をだす医療を実践して、少しでも地域の皆様の
お役に立てるように鋭意努力して参りますので
よろしくお願いします。

プロフィール

【診察科目】　リハビリテーション科　　【所属学会】　日本リハビリテーション医学会

ロボット支援手術
Mako システム

当院で導入した、人工膝関節、人工股関節置換術に対する、
ロボット支援手術“Mako システム”（メイコーシステム）
実際に手術を執刀する、西山大介医師と福井大輔医師に、
関節の疾患のことやロボット支援手術のことを伺いました。



Mako システムとは

Mako（メイコー）システムとは、人工膝関節置換術・人工股関節置換術に特化した手術支援ロボットシステムです。ロボット支援手術におけるロボットは工場などで使用される完全自動のロボットとは異なり、医師が機械の腕(アーム)を操作して、動かすもので、傷んでいる骨を切除したり、人工膝関節・人工股関節（インプラント）を正確な場所に設置するサポートを行います。

県内初導入 Makoシステムについて聞く

変形性膝関節症と変形性股関節症　人工関節置換術におけるロボット支援手術



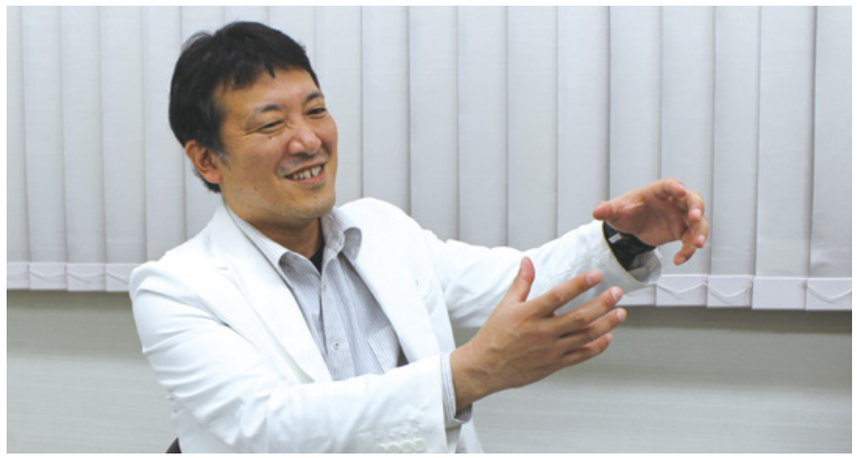
整形外科
福井　大輔
Fukui　Daisuke

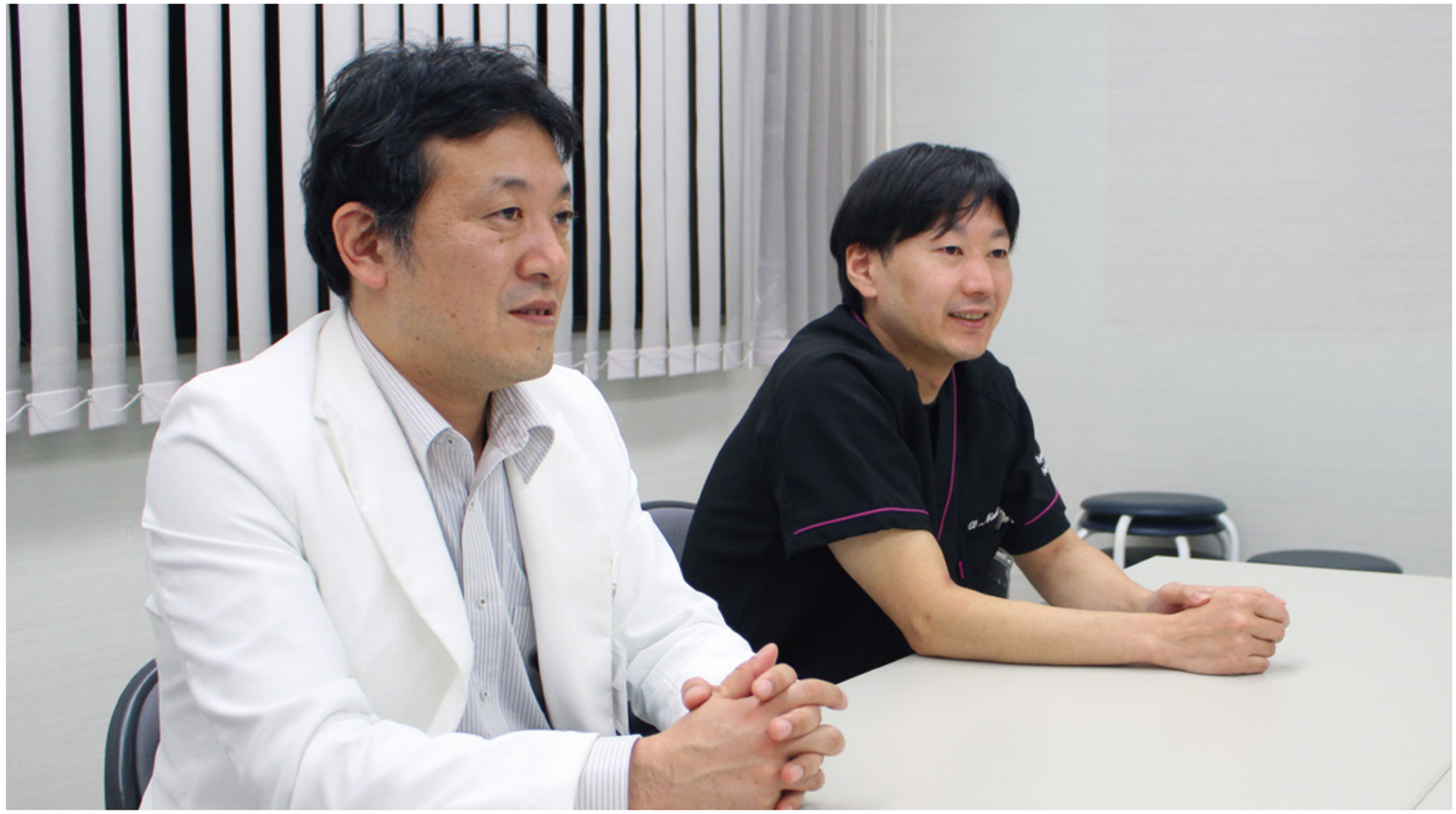
・和歌山県立医科大学
　整形外科学講座　講師
・日本整形外科学会専門医
・日本人工関節学会認定医

整形外科
西山　大介
Nishiyama　Daisuke

・和歌山県立医科大学
　整形外科学講座　講師
・日本整形外科学会専門医
・日本整形外科認定リウマチ医
・日本人工関節学会認定医







地域で困っている患者様に最適な治療を

変形性膝関節症と変形性股関節症

まず、変形性膝関節症ですが、膝関節は、毎日体重の負担を受けながら動かしているため、長年に渡って使っていると、軟骨が徐々に擦り減ってきます。加齢に伴い軟骨も十分に再生されなくなると、更に軟骨の下の骨も擦り減ってきます。そして、関節の表面がボコボコになり、滑らかな動きが阻害されて、生じた炎症から痛みを出すのが変形性膝関節症です。

変形性股関節症は、生まれつき股関節がずれていたり（先天性股関節脱臼）、骨盤の発育不全（臼蓋形成不全）等があるとき、体重の負荷で軟骨が磨り減りやすくなり、骨頭と臼蓋がこすれあうため、痛みや運動障害を引き起こす病気です。

関節は一生に一個

診断されても、痛みはあるが、日常生活に支障をきたさない方もおられます。しかし、関節は一生に一個しかありませんので、本症と診断されたらまず負担を減らして大事に使うという普段の生活を改善していくことが大切です。痛み止めやリハビリ、定期的な関節注射で治療し、それでも生活に支障をきたす場合に手術を考えます。痛みや関節の動きの悪さでご自身が本来望まれる生活が過ごせない、痛みを緩和し、活動の程度を上げたいと思われる方は手術を考えても良いと思います。

「整形外科は、人生を楽しむためのお手伝いをする診療科です。手術をする、しないかは、患者様が毎日の生活をどう過ごすのかを考えて決断してほしい」といつも患者様にアドバイスしています。

患者様にとって理想の人工関節手術を

ロボット支援手術におけるロボットは工場などで使用される完全自動のロボットとは異なり、私たち医師がロボティックアームを操作します。精密な動きのできる機械の腕（ロボティックアーム）が医師の執刀をアシストすることで、手術を正確かつ安全に、術前計画どおり行うことができます。従来の手術に比べて3つのメリットがあります。まず1つ目は正確性。0.5ミリ、0.1度単位で高精度に設置することができ、インプラントが長持ちすることに繋がります。2つ目は安全性。車の自動運転のように自動制御され血管、神経の損傷などの合併症を防ぎます。3つ目は適応性です。膝周辺の柔らかい組織の緊張の程度には個人差があり、手術中に骨を切る量や角度を調整する必要があります。より精密な関節バランスの調整を行うことで、「しっかり伸びてよく曲がる、さらに安定している」という理想の人工関節手術を実現することが期待できます。

先ほども申し上げたとおり、整形外科は人生を楽しむためにお手伝いをする診療科です。患者様の毎日の生活の支障をきたす場合の選択肢として手術があります。病院にいけば手術しなくてはいけないのではと身構えずにまずは私たちにご相談ください。



ロボット支援手術
Makoシステム

地域の皆さまが快適に自分らしい日常生活を送れるように

介護老人保健施設　みくるま

入所　90床（ショートステイ含む）　通所リハビリテーション　30名　訪問リハビリテーション

2022年12月にオープンした介護老人保健施設みくるま。
管理医師の森脇宏医師と副施設長の西山登志子看護師に
開設にあたっての想いや今後の抱負を伺いました。

〒640-0401 和歌山県紀の川市貴志川町丸栖 936-3
TEL：0736-64-2800　FAX:0736-64-2820
【メール】rouken.mikuruma@mikurumakai.or.jp
【HP】http://www.mikurumakai.or.jp

老健みくるま

施設紹介動画
QRコード▶



管理医師

森脇　宏

Moriwaki　Hiroshi



安全で良質なケアを

急速な少子高齢化が進む中、老々介護等の言葉が飛び交っています。
医療介護が必要な状態になっても出来る限り住み慣れた土地で安心して生活を継続し、その土地で終末期を迎えることが出来る環境を整える（地域包括ケアシステム）ことが喫緊の課題です。高齢化の進展に伴う高齢者の慢性疾患の罹患率増加により疾病構造が変化し、病気と共存しながら QOL の維持向上を図っていく必要性が高まっています。
一方介護についても、医療を併せ持つ介護者や認知症高齢者が増加するなど、医療及び介護の連携の必要性がこれまで以上に高まってきています。こうした状況下で医療及び介護の提供体制についてはサービスを利用する地域住民の視点に立って考えていく時代になってきています。
貴志川リハビリテーション病院は医療で社会貢献して参りましたが、この度 2022 年 12 月より介護老人保健施設みくるまを開設し介護でも社会貢献し、この地方の地域包括ケアシステムを充実させたいと考えました。
職員一同、高い倫理観を持ち、利用者様及び家族様に対し誠意ある対応を行い、安全で良質なケアを提供して参ります。どしどしご意見をお聞かせ下さい。

施設長

近藤　溪

Kondo　Michi



利用者さまに満足いただける施設を目指して

この度、「みくるま」の施設長と赴任しました、近藤　溪（こんどうみち）です。
本施設は、医療と介護の仲介役を担う、すなわち在宅生活が困難となっている要介護者の自立を支援するための施設です。
私にとっては未経歴の職域だけに戸惑いが多い一方、明るく広々とした空間の中で、新鮮な気持ちで一からの勉強として取り組んでいきたいと思っています。
骨折の術後や脳神経疾患等の後遺症など種々の機能低下から回復を期すべきリハビリ設備が充実しており、相当期間の入所、数日の短期入所、日帰り通所リハ、訪問リハなど様々な手段での生活応援としてご利用いただけます。
更に、身体だけでなく心のケアも重要視しており、長年の糖尿病の診療と療養指導および前職の公的病院運営管理職の経験も活かし、理学療法士、看護師、介護職員、介護支援専門員、支援相談員、管理栄養士などとともに、利用者の皆様や医療関係の方々から出来るだけ満足、評価のいただける施設を目指していく所存です。

副施設長

西山登志子

Nishiyama　Toshiko



地域の皆さまのお役に立てるように

2022 年 12 月に介護老人保健施設「みくるま」を開設いたしました。
介護老人保健施設（老健）は、病院と在宅の中間施設で、介護とリハビリテーションを受けて在宅復帰を目指す施設です。
老健で利用できる介護保険サービスは、①入所 (施設サービス)、②デイケア (通所サービス)、③ショートステイ (短期入所療養介護) です。また、施設サービスを受けていただける方は、要介護 1 ～ 5 の認定を受けた方、病状が安定していて入院の必要がなく、リハビリテーションを必要としている方です。
老健は住み慣れた地域で安心して生活を続けられることを支援するために、医療・看護・介護・リハビリテーション・栄養管理などのサービスを提供しています。多くの職種が利用者様の一人ひとりの情報を共有しチームでケアにあたっています。
職員一同、地域の皆さまにお役に立てるような「みくるま」として、安全で質の高いサービスを目指して、努力を重ねてまいります。今後は、地域の皆さま方より、より一層のご指導のほどよろしくお願いします。



特別室

その人に合った安心してお過ごし頂ける居室環境

多床室（４人部屋）

温もりとやすらぎを感じる多床室



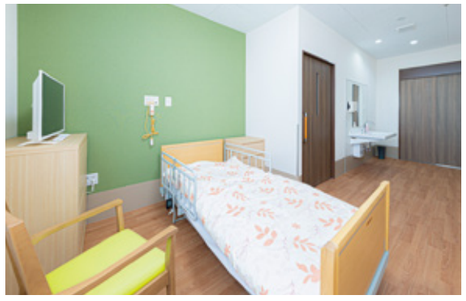
多床室（４人部屋）

間仕切り家具でプライベートな空間



個　室

安心感とゆとりのある個室



個　室

左右対称に位置を変えた個室完備





食堂 & 機能訓練室

入所中の毎日を快適にお過ごし頂ける生活環境

食　堂 & 機能訓練室

温かい食事と質の高いリハビリを提供



浴室

自宅の浴槽に合わせた仕様の個人浴室



一般浴室

開放感のある広々とした大浴場



特別浴室

安心して温かくご入浴頂ける機械浴室



New employee

新入職員紹介

本年度も多数の新入職員が入職しました。
紀の川市の中核病院として、地域住民の皆様に多くの笑顔を
提供できるようスタッフ一同、頑張ります！

赤ひげクリニック



介護老人保健施設みくるま



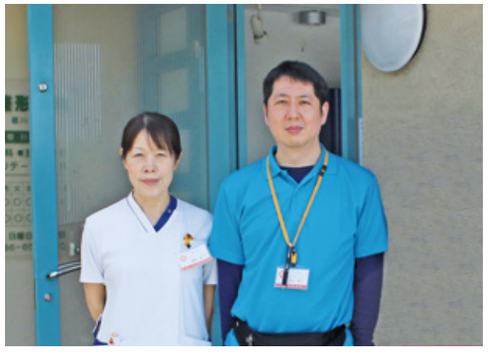
看護部



リハビリテーション部



たま整形外科



Acti-va



薬剤科



事務部



こかわリハビリクリニック



健幸倶楽部ながやま

